



平成 26 年 3 月 20 日

各 位

会 社 名 株式会社 M I E コーポレーション
代表者名 取締役社長 永井 賢治
(コード番号 3 4 4 2 名証第 2 部)
問合せ先 取締役常務執行役員 管理本部長
兼 経営企画部長 岡 和明
(TEL 0 5 9 4 - 3 1 - 6 6 6 8)

新中期経営計画策定のお知らせ

この度、平成 26 年度から平成 28 年度を計画対象期間とする新中期経営計画「CHANGE & CHALLENGE」を策定いたしましたので、下記の通りお知らせします。

記

I 計画策定にあたって

平成 25 年度で終了する中期経営計画「パワーアップ 106」では、「黒字体質への変革・定着－価格に敏感な業務推進－」を主要課題として取組んでまいりましたが、当社グループの主要事業であるステンレス製管継手製品の需要低迷、また急激な円安による輸入製品の仕入コスト上昇分を販売価格への転嫁が十分に図れておらず今年度末決算は黒字を維持することは難しい状況になっております。ただ、当第 4 四半期会計期間以降は販売価格改定による収益の改善及び船級（LNG 船）・製紙関連等の設備投資案件の受注増が見込まれており、当社グループの業績も改善に向かうものと考えております。

このような状況の中で、当社グループは、新たな中期経営計画「CHANGE & CHALLENGE」を策定いたしました。震災復興、東京オリンピック、地域開発、エネルギー分野（LNG 他）の強化・発展という社会の変革ニーズに確りと対応して、黒字体質への変革を図り、ステンレス製管継手業界屈指のメーカーとして持続的発展を遂げることを目指し、「変革への挑戦 社会の変革ニーズへの対応」を基本方針として主要経営課題に取り組んでまいります。

II グループ基本指針

《 変革への挑戦 社会の変革ニーズへの対応 》

III 主要経営課題

1. 粗利益額のアップ

◇売上の拡大及び粗利益率の改善により粗利益額を確保する。

船級（LNG）案件、製紙・紙パルプ業界を中心とした大径管継手案件及び水処理関係、スペック物件の受注強化による売上拡大に努め、利益率の高い溶接継手の拡販、不採算取引の改善、販売価格の見直しにより粗利益率の改善を図ります。

2. 加工分野の売上増強

◇将来の収益の柱とすべく加工分野の深耕を図る。

建築物件を中心としたプレハブ大型物件、船級プレハブの受注体制の強化を図ります。

3. 月間生産高 100 百万円体制の確立

◇継手・プレハブの生産拡大により月間 100 百万円の生産体制を確保する。

自動化設備導入、老朽設備の更新及び人員の増強、育成により、売上拡大への対応、海外調達品の一部内製化を進め、生産拡大を図ります。

4. 調達品の原価率改善

◇海外調達品を中心にもう一段の原価率低減を図る。

価格交渉力の強化、調達リードタイムの短縮、月次での原価率把握による改善等の徹底により粗利益率アップを図ります。

5. 海外調達品、内製品の品質向上

◇品質の維持・強化により MIE ブランドの価値を堅持し苦情件数を削減する。

不適合・問題の予測による予防処置の徹底、OEM 先の技術指導強化、品質損金の明確化及び削減、検査員の技量向上により品質向上を図ります。

6. 新分野への対応能力向上

◇顧客ニーズに対応するため認証範囲の拡大を図る。

船級プレハブ、ガス事アルミ等今後見込まれる顧客ニーズに対応するため積極的に技術向上に取り組む、資格の取得、認証範囲の拡大を図ります。

IV 計数計画（連結ベース）

単位：百万円

	25/3 期	26/3 期	27/3 期	28/3 期	29/3 期
	実績	今期見込	計画 1 期目	計画 2 期目	計画 3 期目
売上高	4, 7 6 2	4, 2 0 0	4, 9 1 0	5, 2 8 0	5, 6 3 0
売上総利益	7 9 6	6 7 0	8 7 0	9 5 0	1, 0 4 0
売上総利益率	1 6 . 7 %	1 6 . 0 %	1 7 . 7 %	1 8 . 0 %	1 8 . 5 %
営業利益	5 6	▲ 9 0	9 0	1 5 5	2 1 5
経常利益	6	▲ 1 5 0	4 5	1 1 0	1 7 0

以上